

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が2月20日、21日、22日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

四本奈緒美議員

- AYA世代がん患者への在宅療養支援について
- 県道惣新田幸手線バイパス道路事業に伴う幸手市の未来像について

松田雅代議員

- 年末年始の医療体制、新型コロナウイルス感染症対応体制について
- 職員の最高のパフォーマンスを引き出す職場環境について
- 第2期「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」の成果について

藤沼 貢議員

- 人口減少問題について
- 幸手駅西口のまちづくりについて

坂本達夫議員

- 本庁舎の建て替え方針について
- 市役所入口交差点について
- 防災行政無線「家に帰りましょう」の放送について
- 農業集落排水事業特別会計について
- 中5丁目小公園付近の浸水対策について

小林英雄議員

- 都市再生機構の団地再生事業について

本田謡子議員

- いじめ問題について
- 防災について

青木 章議員

- 天神の湯等の対応について
- 市長の通勤手当支給について
- 市長公約について

小河原浩和議員

- 吉田幼稚園の跡地利用懇談会の開催により、今後の市の方針や市長の考え方を伺う
- 駅ピアノの準備状況を伺う

- 2018年12月「3市3町における広域連携による結婚支援に関する協定」が締結されたが、現状と今後の方針を伺う

小林啓子議員

- 幸手市の防災対策について
- 健康寿命について
- 幸手市の児童生徒の読書推進について

海老沼隆夫議員

- アライグマ被害対策について
- 幸手市の人口減少防止対策等について
- 危険な県道・市道について

大平泰二議員

- 桜泉園ゴミ焼却施設解体問題
- 新庁舎建設問題
- 水道水汚濁問題
- 治水対策
- 神扇地区ゴミ屋敷問題
- 駅西口土地区画整理関連

木村治夫議員

- 幸手駅東・西口に指定喫煙所の設置について
- まちづくりについて
- 公園整備について

枝久保喜八郎議員

- カーボンニュートラルについて
- 幸手市強靱化防災対策について
- 人口減少防止対策と財政・予算の健全な構築について
- 教育問題について

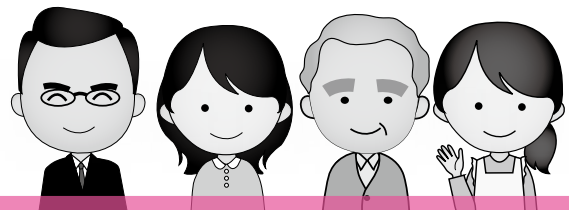
武藤壽男議員

- 行政課題の進捗状況と財政状況について以下市長の見解を伺います
- 市の一般会計から負担すべき各会計、各事業に対する財政支出動向について
- 令和5年度予算の各種計画に対する進捗状況と対応について
- 今後の市政運営について

3月定例会

傍 聴 者		
31の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。		
1月 42件	2月 2,031件	3月 579件
の方が視聴されました。		

議会を傍聴しませんか



議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。

県道惣新田幸手線バイパスに「道の駅」を



四本奈緒美議員

Q 県道惣新田幸手線バイパスの整備事業が本格的に開始された。

県道惣新田幸手線バイパスは国道4号バイパスに接続し、外環道からの東埼玉道路の建設も進んでおり、将来的には幸手インターへの車輛の流れが大きく変化すると予想される。幸手市、埼玉県の東の玄関口

として、選ばれるまちとしての将来を見据えた幸手市の魅力を発信し、賑やかに人が集まる「道の駅」の設置が必要と考えるが市の見解を伺う。

A 県道惣新田幸手線バイパスは全線の道路整備までに長期間を要すると見込まれる。そのため、現段階では具体的な周辺整備の予定等はないが、総合振興計画の土地利用構想については、事業の進捗状況に合

わせて、時点修正を検討していく。国土交通省では、「道の駅」は第3ステージの「地方創生・観光を加速する拠点」と位置づけられており、既存の農産物直売所とのバランスにも留意したうえで、中長期的な観点から研究していきたいと考えている。

(総合政策部長)

小さな改善を市民の安心に



松田雅代議員

Q 医療・感染症対策は国・県の所掌であり、年末年始も多くの医療機関のご協力で体制が図られていた。ところが年始になり複数の市民が発熱外来やPCR検査の受診に困難していたことを知った。市は把握しているか。

新型コロナウイルス感染症は5月に類型変更となるが、改め

て、今年年末年始体制で市民が困難した点等を検証し県等に伝えると共に、市広報においては「県指定診療・検査機関検索システム」の見やすい掲示など、改善を提案するがいかがか。

A 当市においても、市民の方から、年末年始期間に発熱外来の受診を断られたという意見がいくつか寄せられた。感染症の医療体制については、国・県が計画し策定しているも

のだが、市でその計画にしっかりと応え、できる範囲で積極的に協力していく。年末年始期間等に、市民の方がこの医療機関で診療できるかすぐにわかるよう、広報・ホームページ等で周知の徹底をしていきたい。

(健康福祉部長)

人口減少問題について



藤沼 貢議員

Q 昨年1月から12月までの人口動態で多い1月に51人、少ない月で5月マイナス6人で1年の減少数は計317人で推移した。その要因は出生数を死亡数が上まわっての要因である。この減少は未来の社会構造を形成することが極めて深刻な問題である。よってこの現状を乖離すべく各種政策を講じ

るべきと思う。内部の子育てに係る係でチームを編成し人口減少をくいとめるべきと思考するがいかがか伺う。

A 人口減少克服に向けて、今後引き続き「第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた各種施策を、

から「子ども家庭センター」を設置する予定である。組織作りにおいては、人口減少の視点から、社会情勢に沿った柔軟な組織のあり方を検討して、より高い住民サービスの提供ができるよう考えてまいりたい。

(総合政策部長)

また、当市においては、子ども支援に関する相談窓口の強化、一体化を図るため、令和6年度

着実に実施してまいりたい。

本庁舎の建替え方針に注文する



坂本達夫議員

Q 市役所本庁舎は耐震性に問題があり、市長は本庁舎の建替えを検討している。

私は本庁舎の建替えではなく、その機能をウエルス幸手など既存の建物に移転させるべきと訴えた。その理由は、市には庁舎を建設する財政的余裕はないし、新たに借金をすれば、後の世代の負担となる。

市長は、庁舎建設だけでなく、既存建物の利用も検討項目に加えるべきである。また、本庁舎をどうするかの方針、費用、財源等を市民に説明すべきである。

利用なども含めて、整理、検証を行っていく。これらは、基本構想の素案としてまとめ、市民の皆様にお示しし、パブリックコメントによりご意見をいただく予定である。

(市長・総合政策部長)

A 令和5年度の新庁舎建設基本構想策定の過程に

おいて、建設に関する基本的な考え方、機能、適正規模、位置、整備の進め方などを検討し、それに応じた概算スケジュールや概算事業費のほか、既存建物の

幸手団地6街区の団地再生事業の進捗は



小林英雄議員

Q

UR都市機構の幸手団地6街区の団地再生事業が、地域の価値を高める魅力的な街づくりの機会となると考え、令和3年6月議会において質問した。子育て、医療、福祉等の各方面において、熟考を重ねたうえで、総合病院、保育所等既存の周辺施設、駅近等の条件を生かした、教育関連施設、高齢

A

者支援・子育て支援施設の検討を提案した。この意見、提案を参考にして、協議を進めていきたいとの答弁をいただいたが、その後の進捗状況を伺う。

現在、UR都市機構が、良好な街づくりの実現および団地全体の魅力向上等を図る団地再生事業を進めている。幸手団地6街区の団地再生事業における事業敷地の活用については、まだ、はっきりとした

(総合政策部長)

この4年間の防災関連質問は活かされたか



本田謡子議員

Q

令和元年6月議会から4年間、毎回のようにより、防災についての一般質問を続けた。積み木のように地道な作業を要する「防災」の進捗状況は、私と市民生活部危機管理防災課職員等の足跡であると感じる。今回総まとめとして、①避難場所・避難所の設営・運営等の協力 ②広域避難の手法や場所等

A

③全職員の防災ヘルメット一部ではあるが、この3つの進捗状況を伺う。

①避難場所、避難所の設営・運営等は、地域の協力が不可欠なので、ご協力いただける地域から協議を進めていきたいと考えている。

②広域避難の手法や場所等は、現在決まっていないので、今後どのように進めるべきか検討していきたいと考えている。

(市民生活部長)

市長の通勤手当支給問題



青木 章議員

Q

令和2年12月よりウエルス幸手内「天神の湯」が、休館しています。休館中に約1千万円を使い修繕しています。多額の税金を無駄にして、一度も開館せずに閉館しようとしています。（全力で阻止中）老人福祉センターの浴室は、令和2年2月に廃止をし、天神の湯利用を促しています。ピーク時年間9万7千人超の利用があり、災害時活用も出来

A

特別職の通勤手当の支給については、勤務のための実費弁償的な必要経費であること、将来における人材の確保の観点、そして近隣市でも支給している状況があることなどの理由から議案を提出しました。

（市長）

しかしながら、諸般の事情から議案を撤回させていただいたものです。今後、議案を提出する際は、十分な準備と熟慮を重ねて臨むことで、提案者としての職責を全うしてまいります。

駅ピアノの常設を望む



小河原浩和議員

Q

旧吉田幼稚園に残された5台のピアノの利活用として、駅の通路に設置する「駅ピアノ」を提案し、幸手桜まつりの期間に試験的に設置が決定された。市民文化の向上や魅力ある街作りのため、「駅ピアノ」の常設を提案するがいかがか。

A

幸手駅東西自由通路は市道として認定されていることから、ピアノ設置について関係部署等との調整を進めている。先の議会でも答弁したが、幸手桜まつり期間中に、旧吉田幼稚園で使われていたピアノを、幸手駅東西自由通路へ試験的に設置する予定である。その上で課題等を精査し、常設について検討したいので、ご理解をいただきたい。



（総合政策部長）

幸手市の児童生徒の読書推進は



小林啓子議員

Q

AI・デジタル時代だからこそ、児童生徒が読書に親しむことが大事と考える。今日まで「ブックスタート」「セカンドブックスタート」事業の提案推進を行ってきた。現在の児童生徒の読書活動について伺う。

A

育長に伺う。

各校の図書館協力員と教職員が連携し、①学校図書室等での貸し出し、②学習内容と関連した本の活用、③「朝読書」の取組、④ボランティア等による読み聞かせ、⑤「家読」（家族読書）等の読書活動を行っている。読書活動は、言葉・感性・表現力・想像力等、人生をより深く生きるための力を身に付けていく上で欠

くことができないうものと捉えており、今後一層、子どもの読書活動を豊かにすることで、読書習慣の形成や読書意欲向上を目指していく。

（教育長）



幸手市の予算は、優先して幸手市民の為に！



海老沼隆夫議員

Q

幸手市は、幸手駅建設および駅西口開発に多額の予算を費やし続け、今後も多額の支出を計画している訳ですが、一部企業が利益を上積みする駅西口開発よりも先に、今困難を抱えている市民の生活を守ることに、幸手市の市民が幸手市に住み続けたいと思えるため、幸手市で育った若者達が幸手市

A

で暮らし続けて行きたいと思えるようになるために、給食費の無償化や18歳までの医療費の完全補助・支援を実施すべきと考えるが、市のお考えを伺う。

現在、小中学校での給食費補助制度については、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、市内の小中学校等に在籍している2人目、3人目の児童・生徒の学校給食費を補助している。ま

た、子ども医療費については、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、通院・入院ともに、中学校修了までの子どもを対象に支給している。

今後は、財源の確保、他の自治体の動向等を踏まえ、検討してまいりたいと考えている。

（総合政策部長）

神扇地区ゴミ屋敷問題



大平泰二議員

Q 防火・防虫対策についてどのような対策を講じているか。また法的手段である「特定空き家」に指定する考えの有無について市長に伺う。

防火・防虫対策についてどのような対策を講じているか。また法的手段である「特定空き家」に指定する考えの有無について市長に伺う。

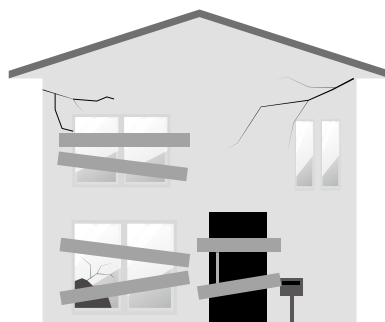
A 最良の防火・防虫対策は、廃棄物を持ち込んだ行為者による廃棄物の搬出および家屋等の管理者による除草作業であると考えている。

市としては、引き続き行為者に働きかけ、廃棄物の搬出等に努めていく。

また、行為者が当該家屋等の現状について改善の意思をもっていることを確認できたので、現段階では、空家等対策の推進に関する特別措置法の「特定空

家」の認定には至らないと理解している。

(市長)



幸手駅東・西口に指定喫煙所の設置を



木村治夫議員

Q (1)市長へ喫煙ブース設置要望書等が提出されているが、その取扱い、庁議検討したのか、その後の対応、また、進捗について伺う。(2)幸手市路上喫煙防止条例を制定し、駅東西口周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、指定喫煙所の設置をすることの市の見解を伺う。(3)たばこを吸う人、吸わない人、双

(1)市長へ喫煙ブース設置要望書等が提出されているが、その取扱い、庁議検討したのか、その後の対応、また、進捗について伺う。(2)幸手市路上喫煙防止条例を制定し、駅東西口周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、指定喫煙所の設置をすることの市の見解を伺う。(3)たばこを吸う人、吸わない人、双

方が互いに快適に過ごせる街の実現に向けて、喫煙マナーの向上、分煙環境の整備等、市の責務であると考え、市の駅前指定喫煙所がなぜ設置できないのか市長に伺う。

A 市民生活部、健康福祉部、建設経済部で協議したところ、駅前広場には煙の影響が及ばない場所が見当たらないことや、喫煙や受動喫煙が健康へ及ぼす影響について啓発し

市民生活部、健康福祉部、建設経済部で協議したところ、駅前広場には煙の影響が及ばない場所が見当たらないことや、喫煙や受動喫煙が健康へ及ぼす影響について啓発し

ている市の方針と整合しないことから、喫煙所の設置は困難との結論に至った。

現在のところ、路上喫煙防止条例の制定は考えていないが、駅前広場の人出の増加や喫煙者数、ポイ捨ての状況などを勘案し、規制の必要性が高くなるようであれば、改めて考えたい。

(市長、副市長、市民生活部長)

スマホ依存症問題について



枝久保喜八郎議員

Q

今、スマホに時間をかけ、スマホに操られる現象が小中学生に多々見られます。ゲーム依存は、課金が繰り返されることで多額な請求が親の元に届くケースもあり、ラインや位置情報アプリでは会ったことのない人と接点を持つことで子どもたちが危険な領域に入ることが問題視されています。今や

A

スマホは犯罪ツールの一面を持つという認識が必要かと思いますが、持たせないわけにもいかない状況が進む中で、学校としても何らかの指導方針を示す必要があるのでは。

現在、スマホ利用が低年齢化しており、ネット依存の疑いがある子どもも増加傾向にあります。そのため、児童生徒に、スマホ等の使用方法を含めた情報活用能力を育成し

ていく必要があると考えております。

そこで本市では、学校と連携し、制限・禁止事項を子どもに課す管理的な指導から、デジタル社会でどう生きていくのか主体的に考えられる資質・能力を育成する教育（デジタル・シテイズンシップ教育）に移行できるように、推進を図っています。

（教育長）

山積する行政課題と確かな事業資金計画



武藤壽男議員

Q

本市は、生産年齢人口の減少と言う財政状況の厳しい中で、少子化に伴う小中学校の統合再配置、市役所を含む公共施設の維持管理、桜泉園等の環境施設の整備費、幸手消防署の改修建設費、上下水道、橋梁、道路、水路等のインフラ施設の維持整備管理費等の財政需要が多岐多様に亘っております。

A

こうした中で、事業に優先順位をつけ、計画的に実施するには、財源の見通しを立て、事業計画と資金計画を一体とした実現性のある計画が必要だと思います。

当市には、喫緊の行政課題である人口減少対策、公共施設の老朽化・長寿命化対策、防災・減災対策など、多岐に渡る課題が山積しています。

このため、毎年度、幸手市総合振興計画実施計画により、今後3年度分の事業・資金計画を立て、事業の位置づけや優先順位、他の計画との整合性を勘案し、PDCAサイクルで見直しを行い、事業を実施しています。

今後も引き続き、総合振興計画実施計画に基づき、計画的な財政運営を行ってまいります。

（総合政策部長）